



熱い声援、響く

5月30日(土)、アデリア総合体育文化センターで児童館行事「親子ドッジビー大会」が開催されました。大会には、多くのチームが参加し、ブロックごとの試合を行った後、トーナメント戦が行われました。

試合では、飛んでくるフライングディスクを果敢に取りにいたり、外野に素早くパスを回したりと、大人も子どもも真剣な表情でプレーをしていました。また、仲間に向けた大きな声援や応援が響き、会場は熱気に包まれていました。



在来種のためにできること

5月18日(月)、川井野寄工業調整池で、地域の生物多様性を守るための環境保全活動が行われました。

当日は、川井野寄工業団地の企業の皆さんをはじめ、市民団体、ボランティアの市民の皆さん、そして市職員が一丸となって作業に取り組みました。照りつける日差しの中、参加者が協力して雑草を刈り取り、在来種がのびのびと育つための環境を整えました。作業後は見違えるほどすっきりと整備され、達成感に包まれた一日となりました。



隠れた魅力を探して

6月6日(土)、生涯学習センターで、いわくら観光講座～忍者と考える「いわくら観光」～が行われました。

講師には、徳川家康と服部半蔵忍者隊®の陽気者の三平さんを迎え、忍者として県内外で活動する中で感じた観光の魅力や課題について話を聞きました。

その後のグループワークでは、「いわくらお忍び旅」をテーマに参加者同士で岩倉市の隠れた魅力やおすすめスポットなどについて話し合い、地域の新たな魅力や観光の可能性について考える機会となりました。



市の垣根を超えて

5月31日(日)、八剣憩いの広場で、愛知県尾張水害予防組合 水防・防災訓練が行われました。

尾張地区7市町の団員たちは暑い中でありましたが体調管理に留意しつつ、地区の垣根を越えて連携し、水防工法の一連の訓練に、一丸となって熱心に取り組んでいました。災害に強い地域づくりを目指し、組織の枠を超えた協力体制がさらに強化された、非常に有意義かつ実践的な訓練となりました。



秋の実りを楽しみに

田植えや稲刈りを体験することを通して農業への理解を深めてもらうことを目的として実施している稲づくり農業体験が6月7日(日)、東町の圃場で今年も始まりました。

参加者たちは田んぼに入り、泥だらけになりながら苗を植えていきました。以前参加したことがある人は慣れた手つきで作業を進める姿も見られ、初めて体験する人は農業の大変さを感じながら、一生懸命取り組んでいました。



正々堂々と競い合う

6月7日(日)、野寄スポーツ広場およびアデリア総合体育文化センターを会場に、全5種目の「スポーツレクリエーション祭」が開催されました。

会場では、個人戦・チーム戦ともに熱気あふれるプレーが繰り広げられました。チーム戦では、参加者同士が声を掛け合い、力を合わせて勝利を目指す姿が随所で見られ、種目を通じて一体感が深まっていく様子が印象的でした。スポーツの楽しさと交流の輪が大きく広がった一日となりました。

市ホームページ内イベントアルバムでもイベントや行事の様子を紹介しています。



Pick Up News (ピックアップニュース)



地域の課題解決と持続的発展につながる官民連携を目指して
岩倉市 と 株式会社官民連携事業研究所 との
包括連携協定締結式 を行いました



市内の小学校5校(4年生対象)に
ミナミ産業株式会社 から リサイクル下敷きの
寄附 をいただきました



令和8年度子供の読書活動優秀実践団体文部科学大臣表彰受賞
岩倉市図書館大型紙芝居等作成実行委員会
が教育長を表敬訪問しました

